

ACTアクセラレータ・ファシリテーション・カウンシル（運営理事会）第4回会合 大臣ビデオメッセージ

昨年5月のACTアクセラレータの発足以来、関係機関の尽力により、ワクチンの開発・普及に向けた取組が進んでいることを歓迎します。

新型コロナを克服するためには、国際的な連携、とりわけ、多国間の枠組みを通じた協力が重要です。日本は、ACTアクセラレータの共同提案国となり、途上国を含むすべての国に対してワクチン・治療薬などへの公平なアクセスを確保するため、COVAXファシリティにいち早く参加し、資金拠出してきました。また、任意の知的財産ライセンスの推進などでも、積極的に貢献しています。

ACTアクセラレータの喫緊の課題は、必要とされる資金ニーズを満たすことです。日本は、COVAXファシリティの事前買取制度への拠出を増額し、合計で2億ドルを拠出することを表明します。さらに、グローバルファンドを通じた保健システムの強化、ユニットエイドを通じた治療薬の普及にも積極的に取り組んでいきます。

新型コロナ対応においては、人間の安全保障の理念、「誰の健康も取り残さない」との観点から、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを実現することが重要です。また、将来の危機に備えた保健システムの強化や、栄養、水・衛生等、感染症に強い環境整備が不可欠です。日本は、今後とも、国際社会と手を携えながら、新型コロナ対策に全力で取り組んでいく考えです。